

自校教育科目「スタートアップセミナー 自主自律」進捗状況のご報告

平成31年度からの新カリキュラムにおける自校教育科目を準備するために、平成28年11月に発足した自校教育科目開設準備委員会では、新しい自校教育科目の要件として以下を基本方針として掲げ、議論を進めました。

- 建学の精神「自主自律」や生活信条「愛情・勤勉・聡明」、東京家政大学の歴史を、教員が知識として教え込む（伝授する）のではなく、学生自らが主体的に学べる科目にする。これにより、学生自身が本学で学ぶ意義を再確認し、本学で学ぶことに喜びと誇りを見いだすこと、自主自律の意義を体得することを目指す。
- 自主自律という、他から独立して自ら努力するという受け止めもあるかもしれないが、社会で真に自主自律であり続けるためには、他者と協同する力、ともに成長し続ける力が、決定的に重要である。一方で、本学にかぎらず多くの大学で、学生たちの横・縦のつながりの乏しさが言われる。この科目では、多様な学科の学生5名程度でグループを構成し、有効性の確立した協同学習の技法を用いて学んでいく。
- 学年を超えた繋がりを築くために、各クラスに上級生をチュードントアシスタントとして配置する。
- 東京家政大学における学びの出発点となる科目であるため、1年前期必修とする。

委員会で検討を重ね、15回（平成31年度には14回）の授業の最初の2回をこの科目の目標や協同学習の理論・技法を伝えることに当て、その後を「東京家政大学の歴史を学ぶ」と「社会に向き合うプロジェクト」の2部構成にすることが決まりました。各回の教案も決まり、今年度、全学共通教育科目A群科目「自立の探究」の一講座として、前後期2クラスずつを開設して実際に授業を行っています。木曜2限・3限の授業は毎週公開していますので、時間が合えばぜひ見学にお越しください。（井上俊哉）

＜履修者の声＞ ※現在、当該科目を履修している学生の声です。

・「戦後の民主主義」を初めて読んだときは、難しすぎて全然わからないと感じていました。でも、ジグソー活動*があったので他の学生と意見の交換ができ、自分でも考えを深めたり少しずつ理解することができました。クラス単位ではなくグループ活動で話し合ったことで、自信がなくても自分の考えを述べることができました。その結果、必ず発言しなくては行けないという気持ちで授業や予習に取り組むことができました。（英語コミュニケーション）

・私の将来の夢は子どもに恵まれ、素敵な家庭を築くことです。だから、他の学生のように就きたい仕事や、働く女性としてのプランがなく、職業に就くということも考えていませんでした。ただ、自分の中で興味があった心理学について学びたいという思いで本学の教育福祉学科に入学しました。しかし、この授業でお話しくださった先輩*が漠然と興味がある学科に入学して、授業を受けていく中で自分がより興味があること、やりたいことを見つけたとおっしゃっていました。その話を聞いて、今は素敵な家庭を築くこと以外で目標と言えるものはないが、本学に通う4年間で自分が就いてみたい職業や、将来の目標を見つけることが私の本学で学ぶ意味だと思いました。（教育福祉）

※ジグソー法：学習者どうしの協同を促し学びを深めるために、アメリカの社会心理学者によって開発された学習技法。学習テーマに関して用意された複数の教材のうち、グループの各メンバーはそれぞれ異なる一つを担当して事前学習します。この時点で、各学習者は一つの教材だけを自習しており、ほかの教材については何も知りません。授業では、同じ教材を担当した者どうしがグループを超えて集まり、自習してきた教材について理解を深める学び合いをします（エキスパート活動と言います）。その後、各自は最初のグループに戻り、各自が担当した教材についてエキスパートとして説明することで、すべての教材について、お互いに学び合います（ジグソー活動と言います）。

※授業では実際に東京家政大学で学ぶ上級生の経験を聞く機会を取り入れています。

<CRED貸出書籍の紹介>

安永悟・須藤文 『LTD話し合い学習法』 ナカニシヤ出版

松下佳代 『ディープ・アクティブラーニングー大学授業を深化させるためにー』 勁草書房

三宅なほみ『協調学習とはー対話を通して理解を深めるアクティブラーニング型授業ー』 北大路書房

新しい自校教育科目企画の出発点は、「学生自身が主体的に学ぶ授業にしたい」「東京家政大学で4年間ともに学ぶ学生どうしの関係を大切にしたい」という思いです。国内外の先行事例から、ねらいを実現する上で、学科を超えた協同学習が有効であると判断しました。しかし、単に学科横断のグループを作れば済む問題ではないことも明らかです。学生たちが自ら学ぶ意欲を持ち、協同して課題への関与を深めるには、具体的にどのように授業を設計すればよいのか。上に挙げた3冊の書籍は、協同学習やアクティブラーニングの意義や理論が説得的に語られ、具体的な技法や事例も豊富に紹介されています。協同学習、アクティブラーニングを実践しようとするとき、勇気と知恵を与えてくれます。部分的に読むだけでも参考になります。お勧めします。(井上俊哉)

平成30年度 教職員研究会

7月12日(木)、第一部基調講演(@板橋校舎小講堂&狭山校舎大会議室(中継))が開催されました。今年度は学内関係者による講演が行われ、参加者数は前年比18名増の296名に上りました！



第二部(教員の部、職員の部)
／第三部(カフェ兼懇親会)は
9月4日(火)13時～開催します。

※第二部事前課題への取り組みも是非お願いいたします！

平成30年度 学科主体FD費用申請受付中

お早目に！

各学科・科が執行可能なFD予算が、例年CREDには割り当てられています。上限10万円の費用をFDの取組みに充てられます。多くの学科・科からの申請をお待ちしております。(宮東城)

- ◆ 申請締切り：平成31年1月18日(金)
- ◆ 申請書：学園HP所属別申請書・届出用紙一覧

<http://www.tokyo-kasei.ac.jp/staff/tabid/488/index.php>

予算執行までの流れ

- Step1 各学科・科より申請書をCREDへ提出 ⇒ 審査有り
 - Step2 各学科・科にてFDを実施
 - Step3 申請書の範囲内の費用について、支払い原議書を起案し、CREDへ提出
- ※予算執行後、報告書をご提出いただきます。